

[043]中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1495230>

出版情報：中国文学論集. 43, 2014-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

彙報

○開講科目(二〇一四年度)

【全学教育科目】

文系ディシプリン科目(文学言語学入門・前期)

静 永 准教授

【文学部・学科共通科目】

古典語(漢文)Ⅲ・Ⅳ(帝京平成大学) 中村昌彦 教授

中国語(中級)Ⅲ・Ⅳ

(梅光学院大学/熊本大学) 中尾健一郎 准教授

中国語初歩Ⅰ・Ⅱ

(梅光学院大学/熊本大学) 中尾健一郎 准教授

中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ

静* 查 永 准教授

人文学基礎Ⅱ(後期)

*印は他講座教員との共同オムニバス授業

【文学部・中文講座科目】

講義 史記淮陰侯列伝講読(前期)

講義 白居易諷諭詩研究(後期)

演習 千載佳句所収唐詩訳注(21)(22)

演習 李白詩研究(前期)

演習 杜甫詩研究(後期)

中国近現代文学作品講読(九州産業大学) 呉紅華 教授

演習 中国文学研究法 查教師・静永准教授

演習 中国語文法研究(言語文化研究院) 西山 准教授

集中講義 中国文化論

「宋词を題材に歌辞系文学と宋代文化を考える」(前期)

(東海学園大学) 松尾肇子 教授

集中講義 『三国志演義』研究(後期)

(金沢大学) 上田 望 教授

【人文科学府】

演習 文選集注離騷読解(前期)

演習 文選集注曹植七啓読解(後期)

演習 書船庸譚訓読Ⅲ(前期)

演習 北平日記訳注(後期)

演習・博士演習 中国文学研究法

論文指導 中国語学中国文学の諸問題

静 永 准教授 静 永 准教授 静 永 准教授 静 永 准教授 查教師・静永准教授 静 永 准教授

○学位論文

(二〇一四年三月学位取得)

南宋文人の文学活動と出版—王十朋と陸游をめぐって—

[博士(文学)甲] 甲斐 雄 一

中島敦と高青邱

[学士] 榎本 さや香

伍子胥故事の研究

[学士] 鈴木 裕 亮

郭沫若「行路難」と佐賀熊の川温泉

[学士] 田中 千 絵

張愛玲「華麗縁」研究

〔学士〕橋本結花

馮夢龍「笑府」研究

〔学士〕山口綾子

(二〇一四年九月学位取得)

劉辰翁研究—宋元交替期の活動を中心に—

〔博士(文学) 甲〕奥野新太郎

○中国文藝座談会

第二七〇回(二〇一三年十二月十四日)於文学部四階会議室

七夕伝承とその文学

梅田未来

洞庭湖を見た唐代の詩人たち

江崎巧

文同の芸術観

井上枝里子

第二七一回(二〇一四年二月一日)於文系講義棟一〇二番教室

目加田誠先生『北平日記』について

静永健

明末清初における牡丹亭還魂記の改編

根ヶ山徹

康熙刊『聖蹟全図』と道光刊『聖蹟図』

竹村則行

第二七二回(二〇一四年三月一日)於文学部四階会議室

明治期の八女の漢学者樋口和堂とその漢籍について

浦志優理子

魯迅と欧米文学—『域外小説集』を中心に—

清水駿貴

蘇軾における「幽人」

黄小珠

仏典音義における唐代字様の利用について

賈智

第二七三回(二〇一四年四月十九日)於文学部四階会議室

羿の伝承における性格の不一致について

雁木誠

惠文太子と玄宗時期の文壇について

劉栗山雅央

左思「齊都賦」の復原に対する再検討

元稹「会真詩三十韻」の表現意図について

長谷川真史

第二七四回(二〇一四年七月五日)於一階中文演習室

『源氏物語』から『狭衣物語』へ

—漢詩文受容を中心として—

閻紹婕

宋代文人焚詩焚文考

李岩華奈子

李雲翔編著活動考

白樂天「江南遇天宝樂叟」は何時詠まれたか

静永健

第二七五回(二〇一四年九月二十日)於文学部四階会議室

羿を中心とする古代英雄故事の変遷

雁木誠

唐皇族李範の文学活動とその作品の日本伝来について

劉潔

『夷堅志乙志』の原本について

—洪邁の改作経緯に着目して—

潘超

第二七六回(二〇一四年十一月十五日)

於伊都キャンパス椎木講堂

(第二回宋代文学研究国際シンポジウムとの共同開催)

紙抄本向印刷文本転変過程中的撰述与出版特点

查屏球

書簡より見た周必大の『歐陽文忠公集』編纂について

東英寿

『草堂詩余』的演化及其在明代的定位
唐宋碑誌集本与石本对比研究

以上(宋代シンポジウム) 司会 浅見洋二

明・張楷「蒲東崔張珠玉詩集」にみる『西廂記』の演変

竹村 則行

◆他学会・研究会での発表(事務局把握分のみ掲載)

○東亞漢籍研究…以日本古鈔本及五山版漢籍為中心國際學術討論會 (二〇一四年三月十五〜十六日、於北京大學)

惠文太子初探 劉 潔

○第六十二回九州中国学会大会発表

(二〇一四年五月十日〜十一日、於久留米高専)

生存圧力、家学伝統与移民環境

— 韓愈寓居宣城修業考論 —

「齊都賦」から見た左思「三都賦」の構想 栗山雅央

『封神演義』における鍾伯敬評の検討 岩崎華奈子

羿の性格とその伝承について 雁木 誠

惠文太子考 劉 潔

元稹「会真詩三十韻」から見た「鶯鶯伝」の構造 長谷川 真史

○東方学会第五十九回國際東方学者會議

(二〇一四年五月二十四日、於東京・日本教育會館)
シンポジウム「洪邁『夷堅志』の世界」

司会 静永 健

コメンテーター 甲斐雄一

奥野新太郎

○日本宋代文学学会第一回大会

(二〇一四年五月三十一日、於京都大学)

蘇軾『和陶詩集』流伝考 原田 愛

○第十一届中国文選学会年会

(二〇一四年八月十五〜十八日、鄭州大学)

従左思「三都賦」的文本内容論西晋の時代性と武帝司馬

炎的影響 栗山雅央

○第六十六回日本中国学会大会発表

(二〇一四年十月十二日〜十三日、於大谷大学)

漢代における羿伝承の演変 雁木 誠

唐「惠文太子集」の伝来について 劉 潔

上海図書館所蔵明抄本から見た原本『夷堅志乙志』

— 洪邁の改作経緯に着目して — 潘 超

○第十七届中国唐代文学学会年会

(二〇一四年十月十一日〜十三日、於蘇州大学)

元稹《連昌宮詞》創作年代考 長谷川 真史

王維詩初漸扶桑考 劉 潔

◆社会連携事業

○市民講座・目加田誠先生『北平日記』読書会(大野城)

(二〇一四年度、大野城市歴史をつなぐ事業推進室主催)
目加田先生『北平日記』(全八冊)のうち、第一冊・第二

冊部分の翻字と訳注作業。開催日は六月二十八日・七月二十六日・八月三十日・九月二十一日・十月二十五日・十一月二十三日・十二月二十一日・一月二十四日・二月二十八日・三月二十八日の十回(予定)。場所は大野城市役所新館会議室。

○研究室共同研究：目加田誠先生『北平日記』読書会(箱崎)

(二〇一四年度、於中国文学研究室)

目加田先生『北平日記』(同右)のうち、第五冊・第六冊部分の翻字と訳注作業。開催日は四月二十六日・五月十七日・六月十四日・七月十二日・八月二日・九月十三日・十月四日・十一月一日・十二月六日・一月十日・二月十四日・三月十四日の十二回(予定)。

○会員消息(事務局把握分のみ)

竹村 則行 三月三十一日、九州大学教授を退職。

林 嵩 三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了

し、北京大学中文系に帰任。

査 屏 球 四月一日、招聘外国人教師として、復旦大学

中文系より着任。

中尾健一郎 十月一日、熊本大学教育学部准教授に着任。

○会員近著(事務局把握分のみ)

竹村則行『唐玄宗紀泰山銘研究―原拓と解釈―』

(花書院、二〇一三年十二月)

竹村則行『孔子聖蹟図』和版集成

(花書院、二〇一四年一月)

西山 猛『漢語史における指示詞と人称詞』

(好文出版、二〇一四年二月)

石 其琳訳(王幼華著)『土地と靈魂』

(中国書店、二〇一四年二月)

静永 健編『海がはぐくむ日本文化』

(東京大学出版会、二〇一四年四月)

東 英寿考校・洪本健箋注

『新見歐陽脩九十六篇書簡箋注』

(上海古籍出版社、二〇一四年六月)

大淵貴之『唐代勅撰類書初探』(研文出版、二〇一四年十月)